

《Japan Tariff Association》

関税メールプレス

(No.334) 2014.8.21 発行元：日本関税協会 長崎支部

:095-825-0557

Fax:095-825-1748

<http://www.kanzei.or.jp/nagasaki/>



平成26年7月分貿易概況〔速報〕



全国の貿易概況〔速報〕

平成26年7月分の貿易額は、輸出は自動車、金属加工機械等が増加し、6兆1,886億円と対前年同月比 3.9%の増加（3ヵ月ぶりの増加）となった。

また、輸入は原粗油、液化天然ガス等が増加し、7兆1,526億円と対前年同月比2.3%の増加（2ヵ月連続の増加）となった。

その結果、差引額は 9,640億円と25ヵ月連続の赤字となった。

長崎税関管内の貿易概況〔速報〕

（資料提供：長崎税関）

< 輸出：2ヵ月連続のマイナス >

化学製品、ゴムタイヤ及びチューブ等は増加したが、船舶類、一般機械等の減少により、2ヵ月連続のマイナス
252億98百万円(前年同月比 37.9%)

< 輸入：3ヵ月ぶりのプラス >

穀物及び同調製品、生ゴムは減少したが、鉱物性燃料、ウッドチップ等の増加により、3ヵ月ぶりのプラス
2,115億74百万円(前年同月比 + 48.5%)

長崎税関管内港別貿易額[平成26年7月分]

前年同月(期)比 10%以上の増減 があったものは青字（増加）、赤字（減少）で表示（単位：百万円）

区分	輸 出				輸 入			
	当月分	前年同月比	累 計	前年同期比	当月分	前年同月比	累 計	前年同期比
管内合計	25,298	62.1%	263,159	84.8%	211,574	148.5%	1,276,903	106.7%
長 崎	3,468	63.5%	78,196	95.4%	8,552	105.5%	50,410	116.1%
長崎空港	18	106.0%	94	102.8%	176	131.0%	1,423	160.4%
佐世保	6,571	37.1%	88,830	76.7%	10,607	87.4%	81,999	96.2%
三 池	9,262	75.1%	58,804	103.8%	2,925	65.5%	23,440	89.1%

区 分	輸 出				輸 入			
	当月分	前年同月比	累 計	前年同期比	当月分	前年同月比	累 計	前年同期比
八 代	1,364	96.5%	8,125	115.1%	3,937	91.2%	28,325	102.7%
熊 本	1,236	122.5%	8,160	110.9%	1,015	136.0%	6,128	131.8%
三 角	590	131.8%	1,691	50.8%	2,139	66.9%	18,252	98.7%
水 俣	-		-	全減	450	58.0%	6,374	107.3%
熊本空港	-		-	全減	6	全増	55	42.5倍
鹿 児 島	441	3.7倍	1,289	56.7%	167,242	177.4%	940,014	106.2%
鹿児島空港	31	13.2%	1,136	32.7%	164	111.5%	2,606	2.5倍
志 布 志	1,756	122.0%	12,705	44.4%	12,437	98.0%	104,860	121.0%
川 内	406	77.5%	3,315	98.6%	1,738	162.0%	11,164	113.2%
枕 崎	155	15.9倍	814	176.4%	186	46.1%	1,855	94.9%

長崎港には松島港を含む。 佐世保港には松浦港及び福島港を含む。 鹿児島港には喜入港を含む。

為替レート: 税関長公示レートの平均値

平成26年7月平均: 101.73円/ドル 【前年同月(98.83円)比 2.9%の円安】

~~✂~~ 国際物流セミナー「中国貿易のリスク管理」開催のご案内 ~~✂~~

日本関税協会では、次のとおり国際物流セミナー「中国貿易のリスク管理」を開催します。まだ受講枠に余裕がありますので、ご希望の方はお早めにお申し込み下さい。

【開催日時】 2014年9月5日(金) 13時～17時

【会 場】 福岡県中小企業振興センター2階(福岡市博多区吉塚本町9-15)

【内 容】 新しい局面を迎えた中国リスクの分析と実務上の対応

【受講料】 関税協会会員: 5,400円(税込) 一般: 7,560円(税込)

【申込締切】 8月22日(金)

お申し込みは、別添申込用紙にてFAXで日本関税協会(本部)教育・セミナーグループまで!

➤ FAX(03-6826-1435)

中国貿易のリスク管理

講師 高原彦二郎氏

開催日時 2014/9/5(金)13:00~17:00

会場 福岡県中小企業振興センター(博多区吉塚本町9-15)

中国でのビジネスリスクを把握し、「戦略的」に再検討しましょう。

2012年9月の尖閣問題以降、日中関係は厳しい状態が続いています。また、中国では賃金上昇に加えて、2012年に初めて生産年齢人口が減少に転じるなど、ビジネス環境が大きく変化しています。本セミナーでは、中国からの撤退や現地法人の内部監査、リストラ等を数多く手掛けるコンサルタントが実例を踏まえ、中国ビジネスにおけるリスクとクライシスマネジメントのとりえ方、日本企業としての対処方法、海外事業全体の見直しのスキームと中国事業の位置づけのほか、中国の事業継続を選択した企業がとるべきビジネスリスクマネジメントと経営課題、中国からの事業撤退を選択した企業の事例と撤退戦略、さらに、中国の代替先として人気の高いアセアンでのビジネスリスク等について具体的に解説致します。

セミナー内容

「新しい局面を迎えた
中国リスクの分析と実務上の対応」
～中国に進出する日系企業のリスク対応と
課題を踏まえて～

- ①中国経営リスクと日系企業の経営課題
- ②中国経営リスクへの対応不足事例
- ③新しい局面を迎えた中国経営リスク
- ④中国事業の戦略的見直し

開催日時/会場/受講料等

- 定員：60名 ※先着順
- 締切：博多会場=2014/8/22(金)
※定員に達し次第締切
- 受講料：賛助会員=5,400円(本体5,000+新税率)
：一般=7,560円(本体7,000+新税率)
(1人当たり。受講料にはテキスト代・消費税を含みます)
- 対象：中国に進出し現地法人の管理・監査等を担当されている方、中国からの撤退をご検討中の方
- 申込：下記、協会Webサイトよりお申し込みいただくか
(http://www.kanzei.or.jp/seminar/butsuryu/c_risk.html)
下記空欄を御記入の上、03-6826-1435までFAXを
お送り下さい。

講師紹介 高原彦二郎(たかはら ひこじろう)：1980年早稲田大学卒業後、大手石油会社にてロンドン支店、香港事務所副所長、北京事務所所長、本社課長を歴任。2004年に退社後、高原コンサルティング事務所(現：コンサルビューション株式会社)を設立、中国進出前・進出後の日系企業の内部監査、内部統制システム構築を通じ、会計・税務・労務・知財・債権分野等のビジネスリスクマネジメントのコンサルティングに従事。近年では撤退のコンサルティング、アジア新興国への進出コンサルも手掛ける。NPO中国税務アドバイザー協会理事、JETRO中国リスクマネジメント委員、中小企業基盤整備機構海外事業評価委員委員としても活躍。

■ お客様の情報・ご連絡先 *賛助会員・各種部会員の方は右記会員番号欄も御記入下さい。 会員番号(6桁)

会社名		部署名	
氏名			
住所	〒		
TEL		FAX	
E-mail			